

東京芸術大学は専門学校であった東京美術学校と東京音楽学校が昭和二十四年に新制大学として統合された、わが国唯一の国立芸術大学であります。

東京美術学校の草創は明治十七年に文部省に置かれた図画調査会に溯り、翌十八年、その決議により文部省図画取調掛が発足、明治二十年東京美術学校と改称しました。

東京音楽学校は明治十二年に文部省に音楽取調掛が置かれたのがその始めで、明治十六年に四年制の音楽専門教育の学制を施行し、明治二十年に東京音楽学校と改称、明治二十六年から一時東京高等師範学校の付属学校となりましたが、同三十二年には再び独立しました。

このように、両校は、発祥の経過を異にしておりますが、明治二十年にはともに文部省直轄学校として学校体系の中に位置づけられました。

それから数えて、本年は百年目に当りますが、その長い歴史を振り返る時、道は必ずしも平坦ではなかったようですが、時に当たった先輩の努力によって、多くの人材を養成し、わが国の芸術の分野において重要な役割を果たして来ました。

そのことを記念して、本年は創立百周年の記念事業として美術展覧会、演奏会、楽器展、貴重図書展覧会を開催致しますとともに、わが芸術大学の百年史を刊行致すことになりました。

百年の歴史を調べ、編纂する仕事は容易なこととは思われません。このために長期の時と努力を費やされた方々ならびに

幾多の協力者の方々に心から感謝を致すと共に、本書の刊行が有意義なものとなることを祈ります。

昭和六十二年八月

東京芸術大学学長 藤 本 能 道